

「新井」開削350年記念特別展

「水のめぐみ」より

③ なぜ「野添」か



▲「野添」には深い意味があります

「野添」の「野」は「いなみ野」の「野」です。この野に「添」ったところにあるから、「野添」といいます。加古川市の「野」□□とよく似た意味です。

「いなみ野台地」は洪積台地のため、水がすく下へ流れ落ちるだけでなく、石が多く地下へ水がしみこみやすい地質でもあります。さらに、瀬戸内気候ですから、もともと雨の少ない地域です。

このように昔から水田にできない野原であったものの、とても美しい野原で『万葉集』で歌われ、『枕草子』で愛でられています。そこを盛んに水田にしていたのは、江戸時代です。水をなんとか溜めようと、ため池を造り、水路をひいてきました。

川やため池の思い出を募集しています。(郷土資料館)



阿閉(あえ)漁港内 プレジャーボート公営係留施設 使用者募集

利用料金(月額)	
6 m 未満	12,000円
7 m 未満	16,000円
8 m 未満	20,000円
9 m 未満	24,000円

- ・艇長の実測値が9 m未満のボート
- ・施設使用規定を遵守すること

※艇長は実測を行うため船舶検査証の全長とは異なり、受け入れできない場合もあります。

申し込み・問い合わせ

フィッシャリーナ管理事務所

☎078(707)1530

〒655-0036 神戸市垂水区海岸通12-5 マリンピア神戸内



「広報はりま」発行/播磨町役場 〒675-0182 (個別番号) 兵庫県加古郡播磨町東本庄1丁目5番30号 TEL 079 (435) 0355 FAX 079 (435) 0609 編集/企画/デザイン印刷/明光印刷株式会社



町の人口 5月1日現在 (住民基本台帳人口+外国籍人口)
34,169人(-46人) 男...16,744人(-13人) 世帯数...12,988(+8)
女...17,425人(-33人)